

令和7年度
調布市武者小路実篤記念館事業計画

指定管理者
一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

1 方針

武者小路実篤記念館（以下「実篤記念館」という。）は、武者小路実篤（以下「実篤」という。）の業績を顕彰し、広く市民の教養・文化向上に寄与するため、次の事業目標のもと、調布市教育プラン及び調布市社会教育計画に沿って事業を展開します。

（１）武者小路実篤の顕彰

年7回の展示事業、普及活動、実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

（２）実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」として機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺派・新しき村の研究施設」を目指します。

（３）次代を担う子どもへのアプローチと利用の拡大（博学連携事業）

学校教育において活用しやすいメニューや教材の開発と提供など、子どもたちへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と人間愛・郷土愛を育む取組を実施します。

（４）実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、実篤公園を活用した新たな事業展開など、更なる市民サービスの向上を図ります。

（５）館の外へとつながる事業

実篤記念館から外に出て、武者小路実篤の活動や魅力を伝えて参ります。地域や大学、近隣市の関係施設との協力事業、展覧会や講座等の開催協力など積極的に取り組みます。

また、SNSを始めとした情報発信により、認知度を高め、多くの人とつながる事業を展開します。

○ 展示活動

令和7年度は、市制施行70周年、実篤記念館開館40周年、武者小路実篤生誕140年の節目の年に当たり、事業全般にわたり記念事業を展開します。

春の特別展「実篤の肖像」では、志賀直哉や長與善郎ら白樺派の作家のみならず、谷崎潤一郎、芥川龍之介といった文学的傾向や世代の異なる作家たちが著した実篤の人柄、岸田劉生やバーナード・リーチ、高田博厚ら芸術家が絵画や彫刻に表現した実篤像、坂本万七らが撮影したポートレートなど、様々な形で表現された実篤の姿から浮かび上がる実篤の人となりを顕彰します。また、深大寺の元三大師のご開帳にあわせて、深大寺所蔵の武者小路実篤作品を、春の特別展期間中に初公開する、コラボ企画を実施します。

秋の特別展「細川護立と武者小路実篤」では、学習院時代に実篤と同級生で、『白樺』の活動を影で支え「白樺の金庫番」とも言われた細川護立との交友に焦点を当て、細川家伝来の美術品等を収蔵する永青文庫に現存する実篤の屏風や絵画、書簡等ゆかりの品々を中心に2人の信頼関係の軌跡をたどります。

また、各7回の展示で各会期に1コーナーずつ開館40周年を特集するテーマを設け、館の歩みを紹介します。

そのほか、実篤の幅広い活動を紹介するために、所蔵品を中心とした企画展を5回開催します。これらの展示活動を通して、実篤の活動や魅力、実篤記念館の収集活動の成果を広く周知し、認知度を高めます。

○ 普及活動

講座・講演会、ボランティア活動などを充実させ、満足度の高い良質な事業を展開して参ります。来場が困難な利用者にも学習の機会を提供するため、配信等を活用する環境の整備に努めます。

また、郷土博物館や公民館をはじめ市内施設との事業協力を深めながら広く情報発信し、実篤記念館の魅力を体感してもらう機会とします。

小・中学校をはじめとする学校教育との連携については、学校で地域ゆかりの文化遺産である実篤と実篤記念館に親しむ機会となる企画や博学連携事業を推進します。さらに、調布市の学童クラブをはじめ地域の小・中学生を対象とした活動等との連携も深め、豊かな文化的経験の場を子どもたちに提供します。

市制施行70周年、実篤記念館開館40周年、武者小路実篤生誕140年を記念して、著名な講師を招き、武者小路実篤に親しむことができる記念講演会を開催します。

広報活動では、多様な媒体を使い、対象者に応じた広報（発信）により、実篤、実篤記念館の認知度を高め、来館や情報利用の促進を図ります。

○ 資料収集及び保存、並びに調査・研究

書画、原稿、書簡、図書、雑誌、写真及び映像・音声資料などの関連資料を収集するとともに、良好な状態で保存します。特に貴重な収蔵品については、適切な保存・管理を図るために、資料状態の把握に努めるとともに修復、複製制作を実施します。さらに、「実篤」、「白樺派」、「新しき村」に係る事項についての情報収集発信基地としての役割を担っていくため、調査・研究を行います。

○ 情報提供システム

情報提供システムでは、収蔵品データベース、情報閲覧システム、ホームページ等を活用し、広く実篤や収蔵品情報を提供するほか、システムのリニューアルは令和6年度に続き2年目となる作業を実施し、更なる情報の充実と利便性向上を図ります。

2 事業概要

No.	事業名	事業内容
1	展示活動	<ul style="list-style-type: none"> ・調布市制施行70周年・実篤記念館開館40周年・武者小路実篤生誕140年を記念し、春の特別展「実篤の肖像」及び秋の特別展「細川護立と武者小路実篤」を開催する。 ・夏休み企画「武者小路実篤入門」をはじめとして、実篤記念館収蔵品による企画展を5回開催する。 ・各会期に1コーナーずつ開館40周年を特集するテーマを設け、館の歩みを紹介する。

2	普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ・調布市制施行 70 周年・実篤記念館開館 40 周年・武者小路実篤生誕 140 年を記念して、著名な講師を招き、武者小路実篤に親しむことができる講演会を開催する。 ・講座等については、さらに内容の充実を図り、特色ある生涯学習の機会と良質な事業を提供する。 ・講演会・講座等の普及事業は、来場できない利用者に学習の機会を提供するため、配信等の環境整備に努める。 ・ボランティアによる、ガイド、開催事業補助や実篤記念館内外及び旧実篤邸の IPM に基づく清掃、データ入力などを実施する。 ・学校との連携を図り、博学連携プログラム作りや、出張展示や出張授業等を推進する。教員研修に積極的に協力し、また、子ども向け解説シート等授業で活用できる教材を作成し提案する。 ・ICT 教育で活用できる情報・教材の整備・作成を推進する。 ・親子参加型事業、夏休み子ども向け事業等キッズプログラムを充実させる。 ・郷土博物館や市内施設及び関連美術館・文学館等との事業連携を深め、実篤と実篤記念館の認知度を高める。 ・特別展パンフレットを刊行する。 ・広報資料の作成や配布、ホームページ等の運用で広く実篤や実篤記念館事業を広報し、実篤の魅力や事業活動を周知し、認知度を高める。 ・友の会事業及びぐるっとパス事業を実施し、広報・普及に努める。 ・毎年計画的に制作している映像作品は、令和6年度に撮影した実篤作品「お目出たき人」の朗読を編集し、一般来館者にわかりやすく紹介する映像を完成し、公開する。
3	閲覧事業	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵図書・資料の閲覧事業を通して、実篤作品に親しむ機会を増やし、利用者の調査・研究活動をサポートする。 ・情報提供システムを活用し、レファレンス業務を充実させて、「実篤」、「白樺派」、「新しき村」に関する情報収集発信基地としての役割を担う。
4	資料収集・保存 調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> ・作品・資料の収集に努めるとともに、収集後は整理を行い、収蔵品を良好な状態で保存する。 ・収蔵品の修復や複製による保存事業を計画的に実施する。 ・作品・資料の保存環境の把握及び整備に努める。 ・収蔵品データベースの情報をさらに充実させる。 ・関係機関との連携、展示・調査研究に係る資料提供の要請等について対応する。 ・所蔵品の点検、未整理資料の整理作業に積極的に取り組む。 ・特別展に関連する資料をはじめ、個人所蔵の資料など、実篤、白樺派、新しき村に係る資料の調査・研究を実施する。 ・旧実篤邸内所蔵品の虫害対策のために消毒作業を実施する。

5	情報提供システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システムの更なる情報の充実を図り、リニューアル完了まで安定的な運用に努める。 ・情報提供システムのリニューアルでは、収蔵品データベース、新・映像データベース、ホームページについて、技術の進歩と情報利用環境及びニーズの変化を踏まえてリニューアルを実施する。令和7年度（2年目）は、収蔵品データベースのシステム設計やデータ整備を行う。 ・ホームページ、SNSの運用を積極的に展開し、情報の発信と認知度向上に努める。 ・ICT教育で活用できるよう、学習サポートページの充実を推進する。
6	記念館の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入場者の安全で快適な利用に供するため、保守点検による設備等の維持及び良好な運用と美観を保持することに努める。 ・駅等からの誘導案内サイン等を、利用者に分かりやすく改修する。 ・収蔵品の状態と保存環境の維持に努めるとともに、後世に貴重な財産を残すために、隔年で行っている燻蒸作業を実施する。 ・作品・資料の保存環境を確保するため、展示室、地下収蔵庫の温湿度をモニターし、空調の調整に努める。 ・雨漏・漏水対策の修繕修繕や災害に備えた施設管理を実施する。 ・市の受変電設備改修工事及び、給排水衛生設備工事・空調設備工事及び電気設備工事の設計業務に取り組む。 ・開館から40年経過した展示室・収蔵庫の設備等の整備計画準備のために、現状の課題を整理、検討する。
7	公園日常管理・旧実篤邸保存	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者にとって快適な施設とするため、日常的な維持管理を行う。 ・登録有形文化財に登録された旧実篤邸を維持管理し、土・日・祝日は公開する。 ・令和6年度の旧実篤邸現状調査を受けて、雨水・排水対策の改修を実施するとともに、今後の保存方針について検討する。
8	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や市民活動支援センター、地区協議会等と協力して地域連携事業を実施する。 ・市内中学生の職場体験の受入れを行う。 ・博物館学芸員実習の受入れを行う。 ・開館40周年記念誌を編集、発行する。

3 展示日程

No.	タイトル	会期
1	調布市制施行70周年・実篤記念館開館40周年・武者小路実篤生誕140年記念、春の特別展「実篤の肖像」	令和7年4月26日（土）～ 6月8日（日）

2	夏休み企画「武者小路実篤入門」	7月5日(土)～8月31日(日)
3	秋季展「美術の世界は広大」 -実篤愛蔵の名品-	9月6日(土)～10月13日(月・祝)
4	調布市制施行70周年・実篤記念館開館40周年・武者小路実篤生誕140年記念、秋の特別展「細川護立と武者小路実篤」	10月25日(土)～12月7日(日)
5	企画展「武者小路実篤と春夏秋冬」	12月13日(土)～令和8年1月25日(日)
6	企画展「続・自筆原稿の魅力」	1月31日(土)～3月1日(日)
7	春季展「版画に親しむ」	3月7日(土)～4月12日(日)

*年間通して、各展示内に「実篤記念館の40年」を特集するコーナーを設けます。

*館内整備（燻蒸実施による）による臨時休館令和7年6月10日(火)から6月29日(日)